

陳 情 書

2021年以降、「トイレトペーパーのように生理用品の常備を」と全国的な運動があり、多くの自治体で学校や公共施設での生理用品の常備が実現されてきました。私たち新日本婦人の会狛江支部もこまえ社会保障推進協議会の一員として、2022年度から予算要望を提出してきました。

狛江市では、2023年6月から、民間企業から寄付された生理用品を試験的に各小中学校の女子トイレに配置されていますが、寄付された用品が無くなった後の措置は考慮されていません。

生理は個人差が大きく、周期通りに来ないこともままあります。トイレ個室ですぐに手当てができるよう、トイレトペーパーのようにアクセスができることが必要です。今後も女子トイレに生理用品が常備されることを要望します。

以上の趣旨により、以下の陳情を行います。

- 1、小中学校の女子トイレに、トイレトペーパー同様、生理用品を常備してください。そのために必要な予算措置を行ってください。